

# 令和5年度 小・中学校教育課程研究協議会に係る各部会の改善の重点

部会名

中学校 総則

## 改善の重点

学校の教育目標の実現に向け、カリキュラム・マネジメントの三つの側面を通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に学校の教育活動の質の向上を図っていくこと。

### 1 設定理由

中学校学習指導要領第1章第1「中学校教育の基本と教育課程の役割」において、「4 カリキュラム・マネジメントの充実」として次のように示されている。

各学校においては、生徒や学校、地域の実態を適切に把握し、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと、教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと、教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくことなどを通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと（以下、「カリキュラム・マネジメント」という。）に努めるものとする。

学校の教育目標を実現するためには、全教職員が適切に役割を分担し、相互に連携することが必要である。その上で、生徒の実態や地域の実情、指導内容を踏まえて効果的な年間指導計画等の在り方や、授業時間や週時程の在り方、加えてその評価や改善方策について、校内研修等を通じて研究を進めていくことが重要である。

また、令和3年中央教育審議会答申「令和の日本型学校教育の構築を目指して」において、1人1台端末を活用した授業デザインの重要性が示されている。1人1台端末の活用により指導の効果が高まる場面を見極めたり、指導者が意図をもって1人1台端末を活用する場面を位置付けたりすることは、教科等横断的な教育課程の編成・実施により育成を目指す「学習の基盤となる資質・能力」や「現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力」などを育む観点からも重要である。

### 2 研究を進めるに当たって

(1) 実践に当たっては、以下の点に留意すること。

- ①学校の教育目標の実現に向け、教科等横断的な学習を充実させるための教育課程の編成の工夫や配慮すべき点（1人1台端末の活用を含む）について明らかにすること。
- ②学校の教育目標とのつながりを意識した教育課程の評価・改善を確実に行う PDCA サイクルの構築の工夫や配慮すべき点について明らかにすること。
- ③教育課程の実施に必要な人的、物的な体制の確保及びその改善（1人1台端末の活用を含む）における工夫や配慮すべき点について明らかにすること。
- ④校内研修等を通じて、1人1台端末の活用を組織的に推進すること。

(2) 参考とすべき資料

- ①これからの時代に求められる資質・能力を育むためのカリキュラム・マネジメントの手引き（大分県教育委員会ウェブサイト）
- ②単元配列表作成例（大分県教育委員会ウェブサイト）
- ③各教科等の学習過程を踏まえた ICT 活用ハンドブック（大分県教育委員会ウェブサイト）
- ④ICT 活用授業&探究ライブラリポータルサイト（大分県教育委員会ウェブサイト）